

# これからの海外戦略



2025年7月26日 UNISEC総会  
川島レイ

# Outline

- 戦略を立てる前に考えるべきこと
- UNISEC-Globalの国際ネットワークの紹介
- UNISECの国際プログラム紹介
- 学生の海外派遣？
- 最後に

# 何（誰）のための海外戦略か？

- 日本発の宇宙工学教育を広めていくため
  - UNISEC学生・卒業生を国際的に活躍できる人材に育てるため
  - UNISEC企業会員の事業開拓・発展に資するため
- 
- 宇宙工学で実現するものはグローバルにならざるをえないので、常に国際調整・交渉・対話が必要。
  - マーケットは海外にある。
  - 国際宇宙人材の層を厚くする必要。（若者もシニアも）

# UNISEC-Globalの国際ネットワーク

- UNISEC-Globalは国際的な非営利非政府組織で、世界各地に展開しているUNISEC支部 (Local Chapter)の集合体。
- 2013年設立。2025年3月14日に一般社団法人ユニセック・グローバルとして登記完了。
- 2017年には、国連宇宙空間平和利用委員会(UNCOPUOS)へのオブザーバー参加承認を受ける。
- 主目的は、宇宙科学・技術が先進国・発展途上国を問わず、どの国でも個人や組織で利用され得るような世界の実現に向けて貢献することであり、世界平和と全人類の利益に適うことを目指す。

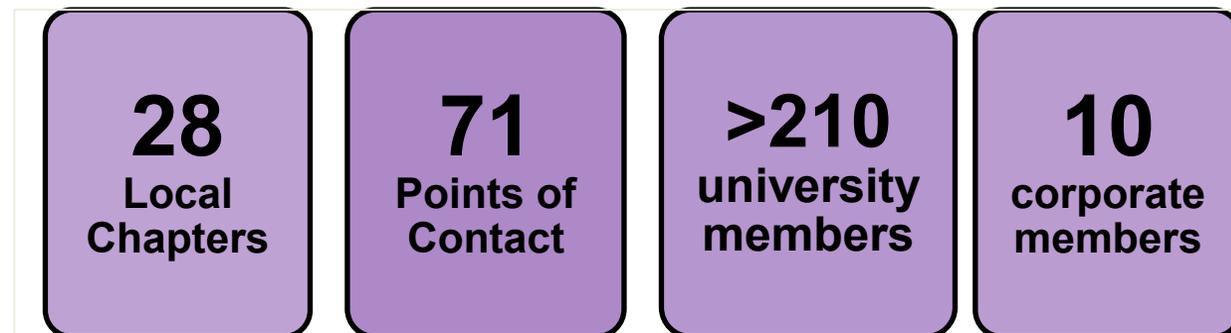


28 Local Chapters, 71 Points of Contact, >210 university members

# UNISEC-Global members

**POC in 71 regions:** Algeria, Argentina, **Bangladesh**, Belgium, Belarus, Bhutan, Bolivia, Bosnia & Herzegovina, Botswana, Brazil, **Bulgaria**, Burkina Faso, Canada, Chile, **Colombia**, Costa Rica, Dominican Republic, **Egypt**, El Salvador, **Ethiopia**, **Germany**, Ghana, Guatemala, **India**, Indonesia, **Italy**, **Japan**, **Kazakhstan**, Kenya, Lebanon, **Lithuania**, Luxemburg, **Malaysia**, Mauritania, **Mexico**, **Mongolia**, Montenegro, Morocco, Netherlands, **Nepal**, **New Zealand**, **Nigeria**, Oman, Pakistan, Paraguay, **Peru**, **the Philippines**, Portugal, Romania, Saudi Arabia, Singapore, **Samara**, Slovenia, **South Korea**, Serbia, Spain, **Angola/Botswana/Namibia/South Africa (UNISEC-SAR)**, Sudan, **Taiwan**, **Tanzania**, **Thailand**, **Tunisia**, **Türkiye**, Uganda, Ukraine, USA, Vietnam, **Zambia**, and Zimbabwe

**(Local Chapters are written in Red)**



# 国連宇宙空間平和利用委員会（UNCOPUOS）への出席

- 2月 科学技術小委員会  
（録画ビデオでStatement 発表）
- 5月 法律小委員会  
（現地でStatement発表）
- 6月 本会議（現地でStatement発表）



キャパシティブルディングでの貢献

Long-Term Sustainability for Outer Space Working Groupでの  
Implementation

# UNISEC国際プログラム

# CanSat/CubeSat Leader Training Program

CLTP14 : 2025年8月19-29日に開催予定

- 場所 : 日本大学理工学部 (船橋キャンパス)
- 講師 : 山崎先生十日大学生TA
- 参加者 : 計17名 (13か国) の予定
  - ボスニア1、オーストラリア1、ドミニカ共和国1、エジプト1、ガンビア1、インド2、ケニア1、ナイジェリア1、オマーン2、フィリピン1、タンザニア1、ウガンダ2、UAE2
  - 8月28-29日の教育実習協力者 : 募集中



# HEPTA-Sat Training の国際展開

Host countries

● 10

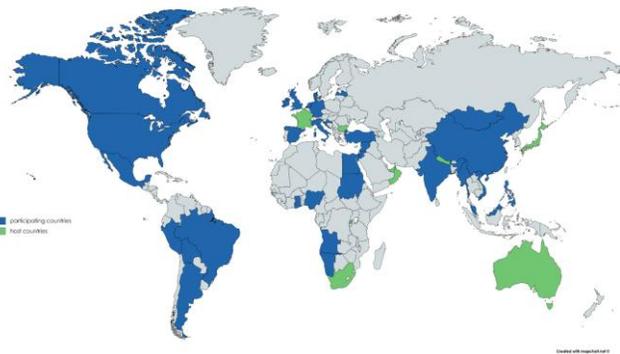
Participating countries

● 53

Trainees

1000

During 2017.10~2022.12



- Ghana, Feb. 2015.
- Angola, Oct. 2015.
- Japan (CLTP8), Sep. 2017.
- Bulgaria, Oct. 2017.
- Nepal, Nov. 2017.
- South Africa, UN Workshop, Dec. 2017.
- UAE, March 2018
- Japan (CLTP9), Sep. 2018
- France (ISU-SSP), Nov, 2018
- Oman, Dec 2018
- Australia (ISU-SHSSP), Jan 2019
- Japan (CLTP10), Sep. 2019
- Kenya, Nov 2019
- Australia (ISU-SHSSP), Jan 2020
- Japan (Kyoto Univ), May 2020
- Japan (Clark Memorial International High School), Dec 2021
- Japan (CLTP11), August 2022
- Japan (Nihonbashi Space week) – one day course, Dec 2022
- Japan (private company) 1-day course, Feb 2023
- Japan (Kimotsuki-cho, Kyushu) 2-day course, March, 2023
- Japan (CLTP12), August 2023



Ghana



Angola



Japan



Bulgaria



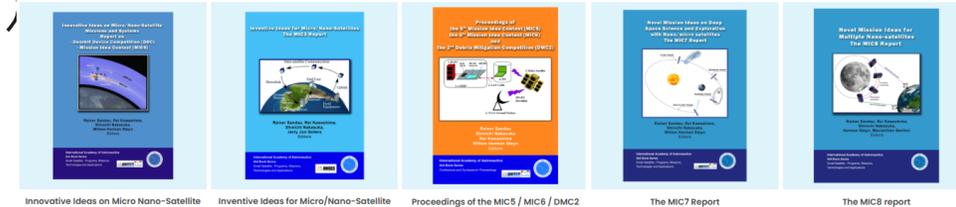
Kenya



Nepal

# 第9回ミッションアイディアコンテスト(月ミッション)

- Mission Idea Contest (MIC)は2010年に創設された技術者や学生のための超小型人工衛星の設計コンテスト。  
<https://www.spacemic.net/>
- IAA書籍ブック・シリーズとして、4冊の書籍と3冊のe-bookを出版
- 世界約70カ国/地域にリージョナル・コーディネータ
- 第9回は月ミッション（月周回衛星、月ローバー）をテーマとして、11月1日に東京大学小柴ホールで口頭発表審査会。
- ファイナリスト10 チーム（14カ国から25チーム応募）  
台湾2, オーストラリア3, 南アフリカ2、日本2,  
トルコ1



# Virtual UNISEC-Global Meeting

- 2020年9月開始（コロナの中でできることを考えて始めたもの）
- 月例（第三土曜日の夜10時～12時）
- Local Chapter にホストの機会
- 毎回50名～200名の参加
- 毎回レポート作成およびプレゼン動画の編集をして発表資料とともにWEBに掲載

<https://unisec-global.org/virtual-meeting.html>



**55th Virtual UNISEC-Global Meeting**  
Theme: Innovative Space Endeavors by Students in Japan  
Hosted by UNISEC-Japan  
Time: 22:00-24:00(JST) April 19, 2025

**REGISTER NOW**

 <b>Moderator</b> George Maeda, ArkEdge Space	 <b>Opening Remarks</b> Hiraku Sakamoto, Chair of UNISEC-Japan, Institute of Science Tokyo
 <b>Overview of Tottori Rover Challenge</b> Sota Kaneko, The Graduate University for Advanced Studies, SOKENDAI	 <b>Challenge of ARES Project</b> Danishi Ai, Tohoku University
 <b>Introduction to ARLISS</b> (A Rocket Launch for International Student Satellites) Kota Matsuhashi, Tohoku University	 <b>Activities and Future Plans for UNISON Satellite Working Group</b> Nagisa Sone, Nihon University



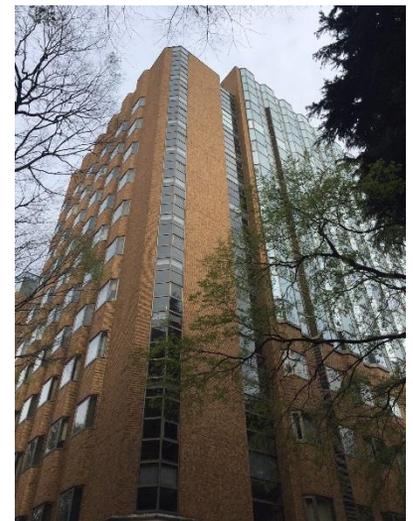
**52nd Virtual UNISEC-Global Meeting** Hosted by UNISEC-Global  
Time: 22:00-24:00(JST) January 18, 2025  
New Year's Greetings and Local Chapter Activity Report

**Moderator**  
Max Berthet  
The University of Tokyo

<b>New Year's Greetings and IoT Constellation Mission Program in UNISEC-GLOBAL</b>  Shinichi Nakasuka, The University of Tokyo	<b>Local Chapter Activity Report</b>
 <b>UNISEC-Italy</b> Paolo Marzioli	 <b>UNISEC-Zambia</b> Faustin A.S. Banda
 <b>UNISEC-Thailand</b> Chayapat Songpipat	 <b>UNISEC-Nigeria</b> Essien Ewang
 <b>POC of Belgium</b> Jurgen Vanhamel	<b>REGISTER NOW</b>

# 第11回UNISEC世界大会

- ・ 場 所: 東京大学本郷キャンパス 小柴ホール
- ・ 日 時: 2025年11月1日(土)ー11月4日(火)
- ・ プログラム:
  - 11月1日(土): オープニング・セレモニー、  
第9回ミッションアイデアコンテスト(月ミッション)、レセプション 等
  - 11月2日(日): スポンサー講演、各国活動報告、  
Nano-satellite IoT Constellation Missionワークショップ 等
  - 11月3日(月): スポンサー講演、各国活動報告、  
Deep Space ワークショップ、学生セッション、POCミーティング 等
  - 11月4日(火): パネルディスカッション  
スポンサー講演、クロージング、ガラディナー 等



# UNISEC世界大会 開催都市

	Year	Venue	Country	Mission Idea Contest
1	2013	東京	日本	PreMIC3
2	2014	北九州	日本	MIC3
3	2015	名古屋	日本	MIC4
4	2016	バルナ	ブルガリア	MIC5
5	2017	ローマ	イタリア	PreMIC6
6	2018	ストラスブール	フランス	MIC6
7	2019	東京	日本	MIC7
8	2022	イスタンブール	トルコ	PreMIC8
9	2023	東京	日本	MIC8
10	2024	ステレンボッシュ	南アフリカ	PreMIC9
11	2025	東京	日本	MIC9

# 第11回UNISEC世界大会

## スポンサープログラムのご案内

スポンサータイプ	Galaxy	Sun	Planet	Earth	Comet (ノベルティ)
税込(円)	110万円	55万円	33万円	22万円	5.5万円
登録料無料特典	10名様まで	5名様まで	3名様まで	2名様まで	-
ガラディナー無料参加特典	8名様まで	3名様まで	2名様まで	1名様まで	-
スポンサー登壇	30分	20分	10分	5分	-
Web等へのロゴ掲載	✓	✓	✓	✓	-
プログラムへのロゴ掲載	✓	✓	✓	✓	✓
ノベルティ ※会議バッグに入れてご提供	✓	✓	✓	-	✓
展示ブース	2区画	2区画	1区画	1区画	-

- ノベルティスポンサー: 御社のノベルティやパンフレット等を会議バッグにお入れします。5万円で承ります。会期終了後はご希望によって、別イベントでの配布あるいは処分とさせていただきます。
- UNISEC企業会員またはUNISEC-Global企業会員の場合は上記金額から15%割引になります。

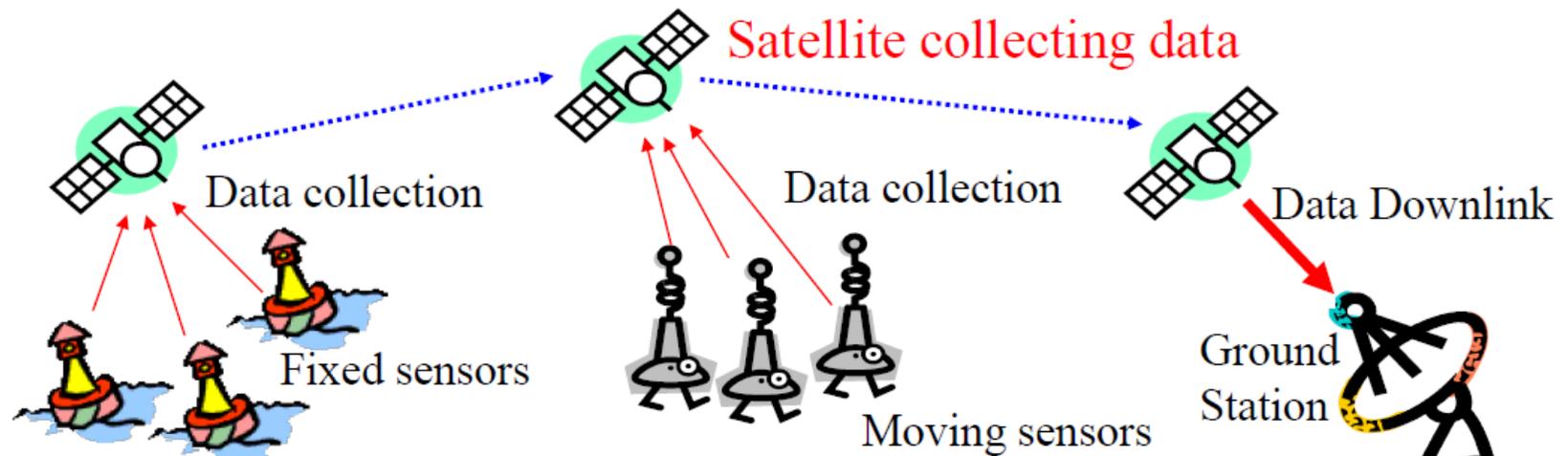
# UNISEC Deep Space Workshop

- 深宇宙（月以遠）探査を活発化させる
- 11月3日PM（UNISEC世界大会3日目）東京大学で開催
- 第一回は姫路で宇科連の直後開催。
- 今回は第二回目となる。
- 内容については企画・検討中

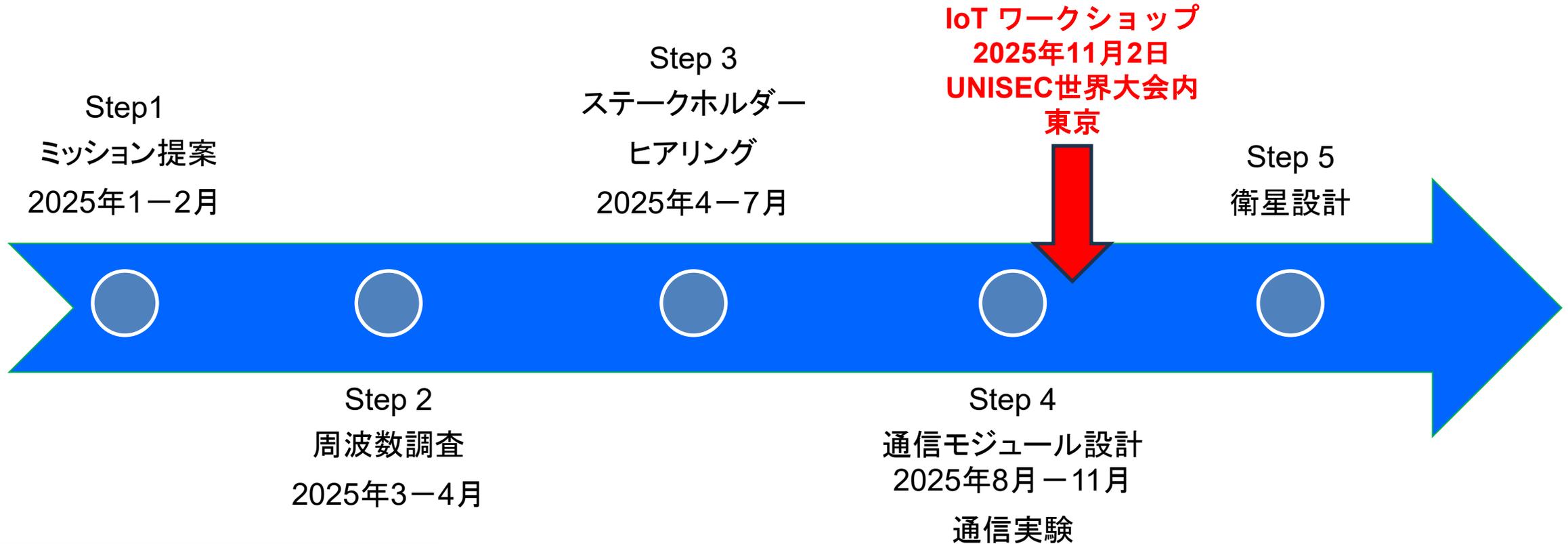


## 超小型衛星を使ったIoTコンステレーションプログラム

- Store and Forward : 地上で測定したデータを電波で上空にあげ、それを衛星が集めて、地上局でそのデータを回収する。
- コンステレーション : 多数衛星を使って、頻度をあげる。
- 地上センサ : 衛星が作れない国も、センサ開発・計測でプログラムに貢献できる。



# IoTプログラム・マイルストーン



約30カ国が参加

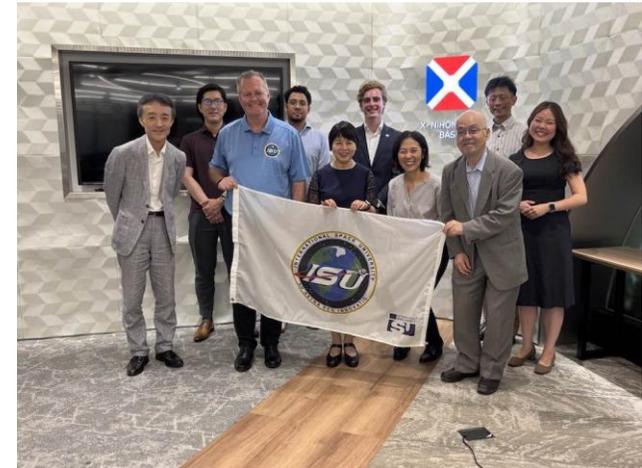
# 学生の海外派遣プログラム？

- 学生を海外に派遣して、衛星ハンズオントレーニングを実施することができないか。
  - HEPTA-SATトレーニングの海外実績
  - 70カ国の大学ネットワーク(情報拡散容易)
  - CLTP卒業生が50カ国以上にいる（受け入れ先多数）
  - 衛星知識と経験のある学生多数
- 学生の国際力アップ
  - 研修プログラムのセットアップ
  - 教えることによって学ぶ（深く学ぶ）
  - 海外ネットワーク
  - 異文化経験

助成金申請中

# ISU-Executive Space Course (ESC) at 北大

- 2025年10月20日-24日に北海道大学で開催
- 5日間で宇宙法から宇宙工学・科学まですべての分野を網羅して学ぶ。
- 国際宇宙大学のエグゼクティブスペースコースを日本へ誘致。北大で受け入れ。ISUコースの開催は、1992年の北九州以来、33年ぶり。
- 国際感覚のある学生を育てても、国際感覚のない上司の下だと、国際人材に育ちにくいという危機感から、日本企業の管理職に International, Intercultural, Interdisciplinary な経験と国際ネットワークの価値を実感してもらえる機会を作る。



# 最後に

**If you want to go faster, go alone.  
If you want to go further, go together.**